



## 答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 1 発芽	種子から芽が出ることを「発芽」といいます。
問2	答え 1 成長のための養分として使われて、なくなっていく。	でんぷんは発芽やその後の成長のための養分として使われるため、植物が成長するにつれて使われて減っていきます。
問3	答え 1 発芽や成長に必要な養分がふくまれている。	子葉は、種子の中で発芽や成長に必要な養分がふくまれている部分です。
問4	答え 4 空気と温度の条件を同じにして、水を与えるものと与えないものを比べて調べる。	水が必要かを調べるためには、水以外の条件（空気と温度）を同じにして、水を与える・与えないという違いだけをつくって比較します。
問5	答え 1 肥料をあたえないときよりも、葉の数が増える。	植物に肥料をあたえると、葉の数が増え、あたえないときよりもよく成長します。
問6	答え 4 水をたっぷりあたえずで、種子が空気にふれなくなったから。	種子を水の中に完全にしずめると、水が多すぎて空気にふれることができなくなります。発芽には水と空気の両方が必要です。
問7	答え 1 肥料	植物がよく育つためには、日光や水、空気のほかに肥料をあたえる必要があります。
問8	答え 1 必要ない	種子が発芽するために肥料は必要ありません。水、空気、適当な温度がそろえば発芽することができます。
問9	答え 4 水をあたえるかどうか	調べたい条件である「水」だけを変えて、温度や空気、日光などのそれ以外の条件はすべて同じにする必要があります。
問10	答え 2 ヨウ素液	でんぷんがふくまれているかを調べるためには、ヨウ素液という液を使います。
問11	答え 2 条件をそろえる実験	植物の発芽や成長の条件を調べるときは、調べたい条件だけを変えて、それ以外の条件はすべて同じにする「条件をそろえる実験」を行います。
問12	答え 3 でんぷん	種子の中にはでんぷんという養分がふくまれており、これが発芽や成長のために使われます。
問13	答え 1 水	種子が発芽するためには、水が必要です。土や肥料は発芽したあとの成長には使われますが、発芽するためには必要ありません。
問14	答え 1 必要ない	種子が発芽するために、光は必要ありません。水や空気、適した温度があれば、光がなくても発芽することができます。